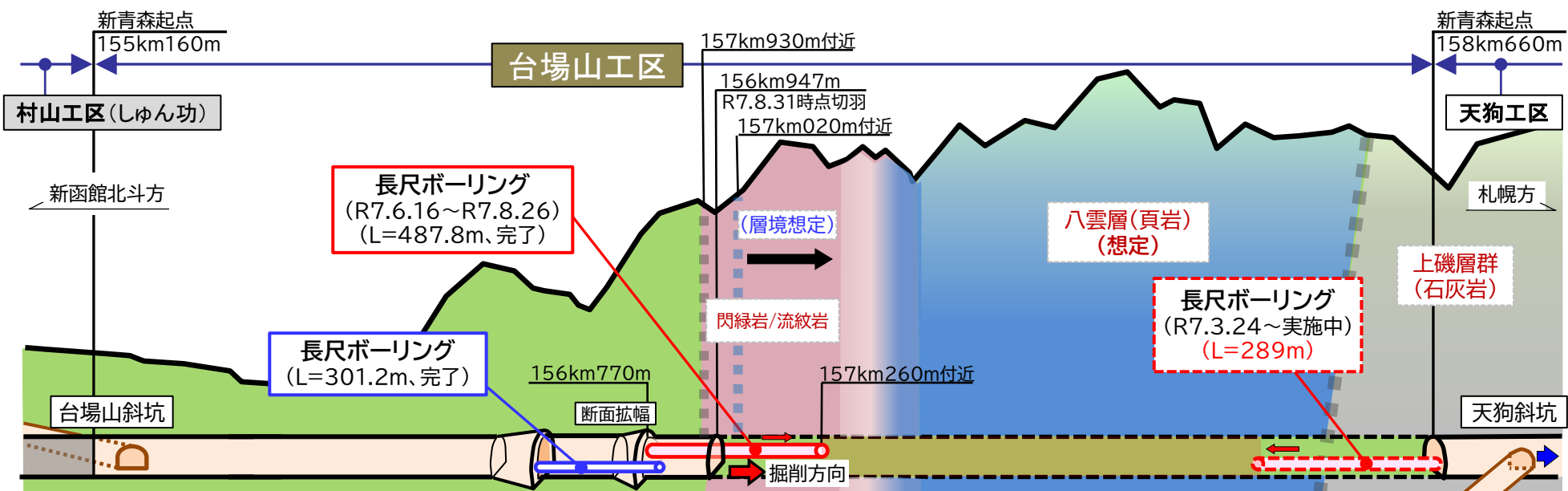


- 令和7年8月4日～6日に北海道新幹線(新函館北斗・札幌間)の本線に敷設するレール(長さ25m/本、約1,000本)を岩内港(岩内郡岩内町)に初陸揚げした。岩内港は、レールを陸揚げした港として、瀬棚港に続き3か所目。
いわない
- 岩内港への陸揚げは、令和7年度に約2,000本、令和8年度以降に約12,500本の計14,500本を予定。



レール陸揚げの様子

- 地質不良が続いている渡島トンネルの台場山工区において、前方の地質状況を早期に把握し、今後の掘削見通しの検討に資するため、台場山工区側から天狗工区に向けて長尺ボーリング調査(L=約490m)を実施。
- 157km020m付近から八雲層の出現を想定していましたが、156km930m付近～157km260m付近に閃緑岩/流紋岩が出現。現在、ボーリングコアの分析中
- 天狗工区側から台場山工区に向けての長尺ボーリング調査(L=500m目標)は引き続き実施。



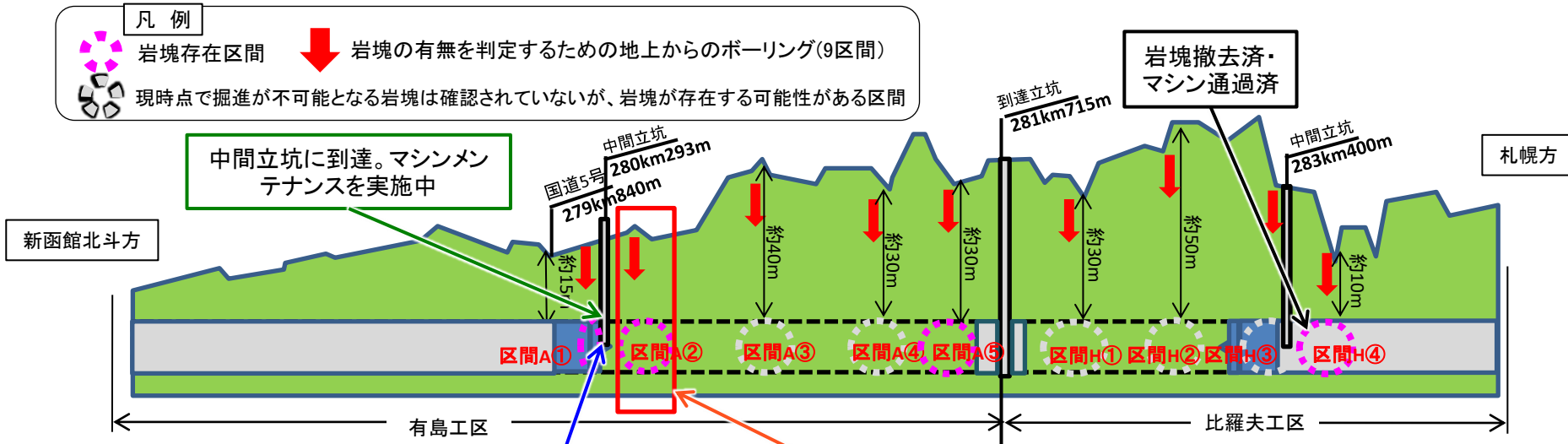
台場山工区から札幌方への長尺ボーリング実施状況



天狗工区から新函館北斗方への長尺ボーリング実施状況

岩塊撤去の進捗状況(羊蹄トンネル)




- 令和4年度に実施した弾性波探査の結果、9箇所掘進に影響する可能性のある岩塊の存在を確認。(図中の区間A①～H④)
- 区間A①では、掘進停止の原因となった岩塊を撤去し、シールドマシンが7/1中間立坑に到達。マシンメンテナンス実施中。ビット交換準備中。
- 令和4～5年度の地上からのボーリング調査の結果、区間A②、A⑤、H④において、シールドマシンによる掘進が停止するおそれがある岩塊の存在を確認。このうち、区間A②の岩塊は、令和6年5月より地上から撤去中(令和7年6月より撤去範囲を拡大しており、令和7年8月31日時点で150本の撤去完了)、区間A⑤の岩塊は、今後到達立坑から撤去予定、区間H④の岩塊は地上から撤去済。区間H③は岩塊無し。
- 残りの区間では、地上からのボーリング調査の結果では、シールドマシンによる掘進が不可能となる岩塊は未確認。

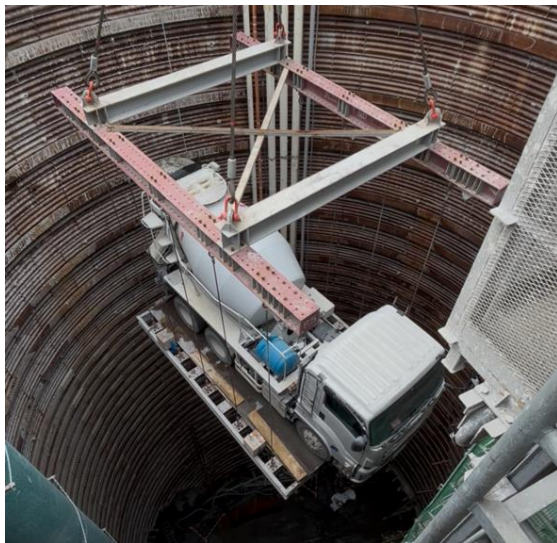
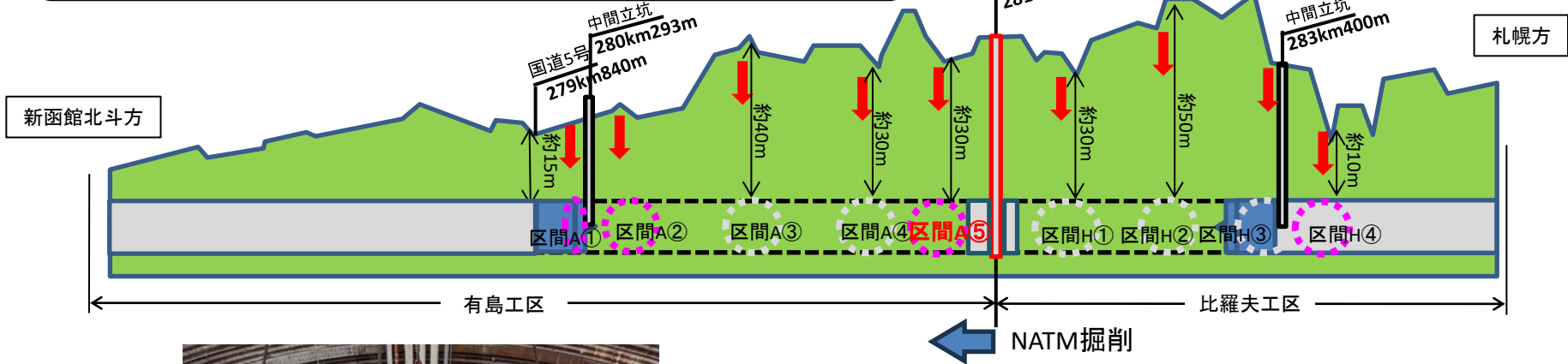


羊蹄トンネル(有島)工区の岩塊撤去状況【区間A⑤】

○岩塊が存在すると想定してる区間A⑤における岩塊撤去について、令和7年2月より到達立坑よりNATM掘削を開始。
 ○令和7年9月より、区間A⑤の岩塊区間を掘削予定。

凡例

-  岩塊存在区間
-  岩塊の有無を判定するための地上からのボーリング(9区間)
-  現時点で掘進が不可能となる岩塊は確認されていないが、岩塊が存在する可能性がある区間



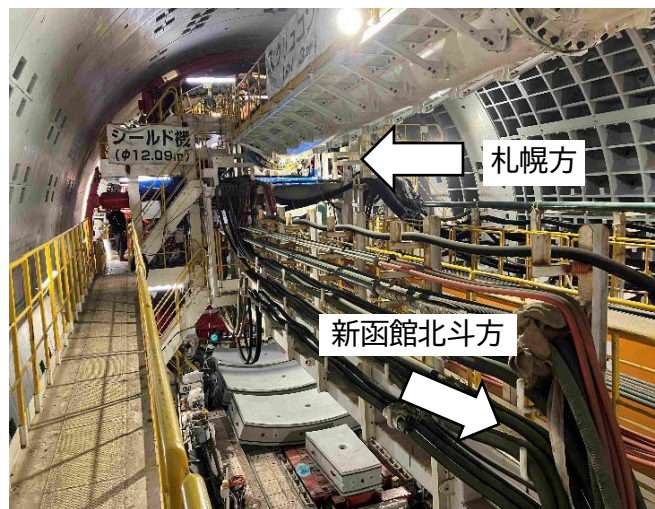
トラックミキサー車入坑状況(到達立坑部(地上部))



NATM掘削状況

シールドトンネルの進捗状況(札幌トンネル(札幌))

- 令和6年3月より札幌方の掘進を実施。令和7年9月1日時点で約790mを掘進完了。
- 令和7年5月中旬から後方設備の段取り替えを行い、8月より掘進再開。
- 今後、JR函館本線をはじめとした重要構造物直下の掘進を予定。



札幌方掘進の様子

